

日本心血管理学療法学会「COVID-19 関連情報特別チーム」  
海外の専門情報

No.66

調査者	井澤 和大、加藤 倫卓、山本 周平
情報ソースの刊行日	2021 年 1 月 29 日
情報ソースの調査日	2021 年 1 月 30 日
日本理学療法士学会 HP に公開された日	2021 年 2 月 1 日
日本語タイトル	日本における新型コロナウイルス感染症(COVID-19)のパンデミックがフェーズ 2 の心臓リハビリテーション患者に及ぼす影響
情報ソース	Ogura A, et al. Impact of the COVID-19 pandemic on phase 2 cardiac rehabilitation patients in Japan. Heart Vessels, Published: 29 January 2021
情報のカテゴリー	回復期の心リハ
発信地域	アジア(日本)
URL	<a href="https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/33512598/">https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/33512598/</a>
要約	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 外来心リハの中止や外出自粛が外来心リハ患者に及ぼす影響について検討されている。</li> <li>・ 2020 年 4 月から 5 月の緊急事態宣言による心リハ中止の前後に、同一負荷で行われた運動療法時の循環動態反応と自覚的運動強度の変化について、75 歳未満群と 75 歳以上群に分けて調査された。</li> <li>・ 75 歳未満の患者は、心リハ中止前に比し、運動中の心拍数は増加した(<math>p=0.009</math>)。</li> <li>・ 75 歳以上の患者は、心リハ中止前に比し、体重は減少し(<math>p=0.009</math>)、また運動中の Borg スケールは、呼吸困難感および下肢疲労感ともに高い値を示した(各、<math>p&lt;0.001</math>)。</li> <li>・ 75 歳以上の高齢者では、よりフレイル予防のための対策が必要である。</li> </ul>